




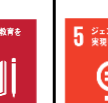











※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社高見澤 本社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・社内規程に明記し、社員全員で遵守に努めている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3											16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントに関する社内規程を制定し、社員全員で遵守に努めている。 ・相談窓口を設置し、社内に周知している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8												16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・勤怠管理システムで正確な労働時間をリアルタイムに把握できる管理体制を構築し、長時間労働の防止に努めている。								8.5 8.8													
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・社内規程に明記し、社員全員で遵守に努めている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3											
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・安全衛生年間計画を策定している。 ・総通知による災害防止喚起を実施するとともに、特に新人研修において注意喚起を励行している。			3					8													
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・ストレスチェックの実施及び心の健康づくり計画を策定している。 ・メンタル休職復帰規程によるフォローアップ体制を構築している。			3																		
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・女性活躍推進法、次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画を策定し、多様な人材が活躍できる環境整備に取り組んでいる。 ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得して、階層別の研修など体系的な人材育成を実施している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3											
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・公的資格取得促進やスキルアップのため、資格手当を支給している。				4	5.5			8	9												
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・パートタイム・有期雇用労働法、労働契約法等に則り、同一労働同一賃金のガイドラインに沿った公平公正な処遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3											
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・健康診断後の保健指導を奨励している。 ・会社が費用を負担して、インフルエンザ予防接種を実施している。			3					8													
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物を分別し、専門業者に委託して適切に廃棄している。											11.6	12.4		14.1							
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・エネルギー管理委員会を設置してエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を把握し、排出量低減に取り組んでいる。							7.3						13								
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・エネルギー管理委員会を設置して温室効果ガス排出量を把握し、排出量の低減に取り組んでいる。							7.2 7.3						12.4	13.3							
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・有害化学物質が出た場合は、委託業者に依頼し、適切な処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4									

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
																											
環境	15 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・環境への影響が少なく、生物多様性を阻害しないと思われる、エコマーク製品・グリーンマーク製品・ECFマーク製品の購入を推奨している。						6.6							15									
	16 【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・紙類・トナーなどリデュース・リサイクルの推進を実施している。										12.5		14.1										
	17 【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・水資源の重要性を認識し、使用量の削減に努めている。 ・使用水の再利用や雨水利用に取り組んでいる。						6.4 6.6																
	18 【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ											3.9		6	7			12	13.3	14	15					
	19 【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・有価証券報告書等で環境の取組みに関する情報を開示している。											12.6											
	20 【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・太陽光・小水力発電、蓄電池システムの販売及び自社設置に取り組んでいる。							7.2							13								
	21 【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ															12.2	13	14	15							
公正な事業慣行	22 【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・コンプライアンス委員会を設置するとともに、コンプライアンス規程に明記し、社員全員で遵守に努めている。																				16 16.5		
	23 【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・コンプライアンス委員会を設置するとともに、コンプライアンス規程に明記し、社員全員で遵守に努めている。																				16		
	24 【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・コンプライアンス委員会を設置するとともに、コンプライアンス規程に明記し、社員全員で遵守に努めている。														8.2 8.3	9							
	25 【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・特定個人情報取扱規程を定め、適切に管理している。 ・プライバシーポリシーを定め、ホームページにて公開している。																					16	
	26 【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																								16	
	27 【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ								5					8				10		12	13	14	15	16	17	
28 【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本				・「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している												3			8	9	10				17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
 - 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
 - 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定